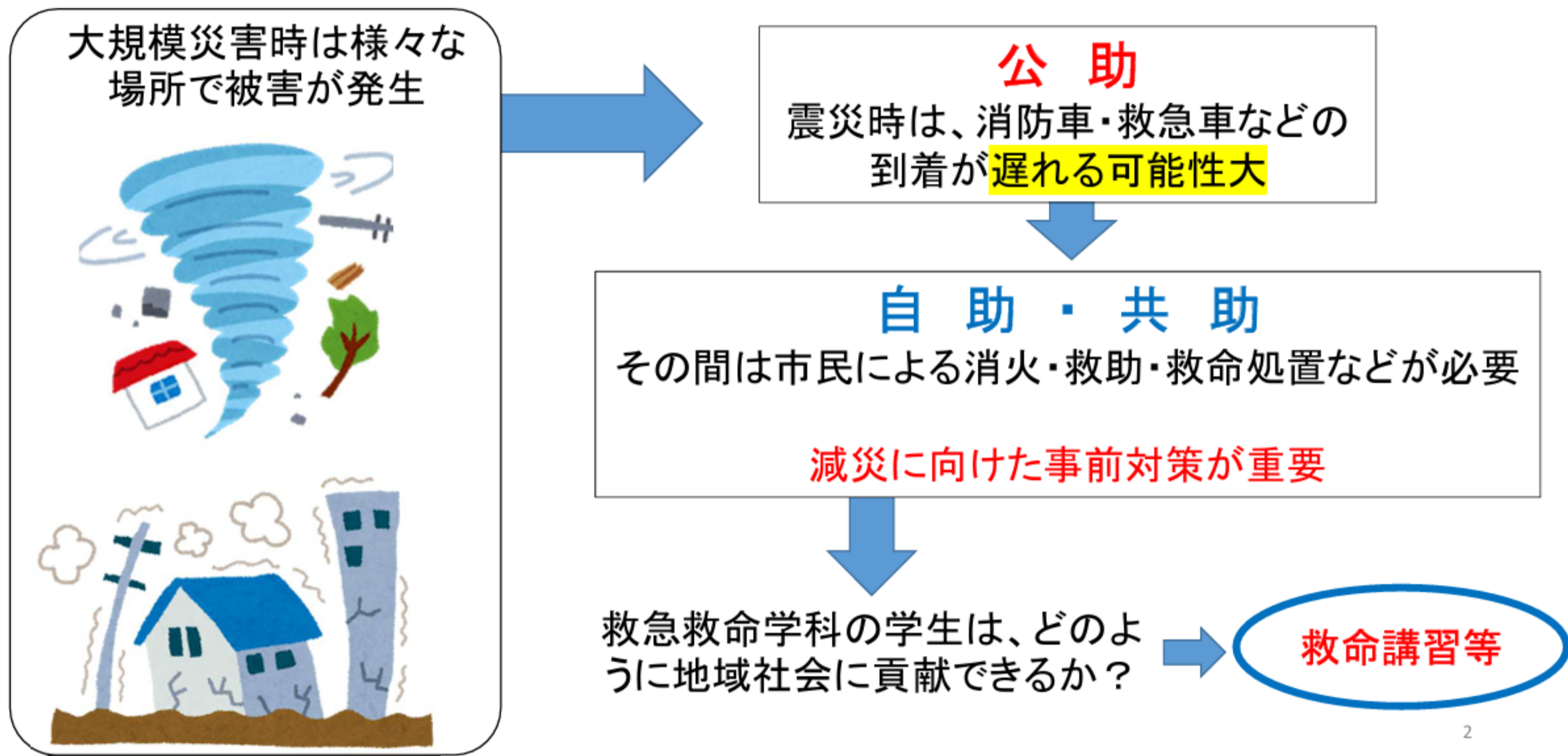


地域での多様な活動 ～救急救命学科学生の活動事例～

杏林大学保健学部 救急救命学科
清武 直志 市橋 利行 六川 光史 田中 武

自然災害が頻発・激甚化する日本における「災害に備えるまちづくり」



2025年度の活動

- 1 市民に対するBLS指導(三鷹市総合防災訓練等)
- 2 中学生に対するBLS指導
- 3 「三鷹市民駅伝大会」や「武蔵野市医療連携訓練」において医療救護ボランティア活動

1 市民に対するBLS指導(三鷹市総合防災訓練等)

- ・ 実施日: 令和7年10月5日(日)/11月16日(日)/令和8年3月20日(金・祝日)
- ・ 参加者: 救急救命学科ボランティア学生38名、教員4名
- ・ 体験者: 市民約400名以上が応急救護体験
- ・ 内容: 学生による心肺蘇生法及びAED取扱いの指導
- ・ 家族連れやグループなど、子供から高齢の方まで多くの市民が体験



2 羽村市内の中学生に対するBLS指導

- ・ 実施日: 令和7年6月20日(金)
- ・ 参加者: 救急救命学科学生50名、教員10名
- ・ 対象者: 市立の3つの中学校、2年生435名
- ・ 内容: 教員による講義、学生による心肺蘇生法の展示・指導
- ・ アンケート結果: 体験した中学生の93.9%が「人が倒れたとき、協力して応急手当ができる(「まあまあできる」含む。)」と回答した。



3 三鷹市内の中学生に対するBLS指導

- ・ 実施日: 令和8年3月2日(月)・3日(火)・9日(月)・10日(火)
- ・ 参加者: 救急救命学科学生のべ20名、教員5名
- ・ 対象: 第2及び第6中学校、中学生336名
- ・ 内容: 三鷹消防署及び(公財)東京防災救急協会と連携し、普通救命講習の指導
- ・ 各中学校教員からも本学学生の懇切丁寧な指導に対し、好評を得ている。



4 「三鷹市民駅伝大会」や「武蔵野市医療連携訓練」での医療救護ボランティア

- ・ 実施日: 令和7年11月23日(日)/12月7日(日)
- ・ 参加者: 救急救命学科ボランティア学生27名、教員4名
- ・ 参加チーム数/訓練参加者等: 191チーム/医師等150名
- ・ 内容(駅伝大会): 救護所で医師・保健師等と連携して負傷者対応
- ・ 内容(医療連携訓練): 医師等病院関係者及び市職員等と連携し震災を想定した多数傷病者訓練を実施

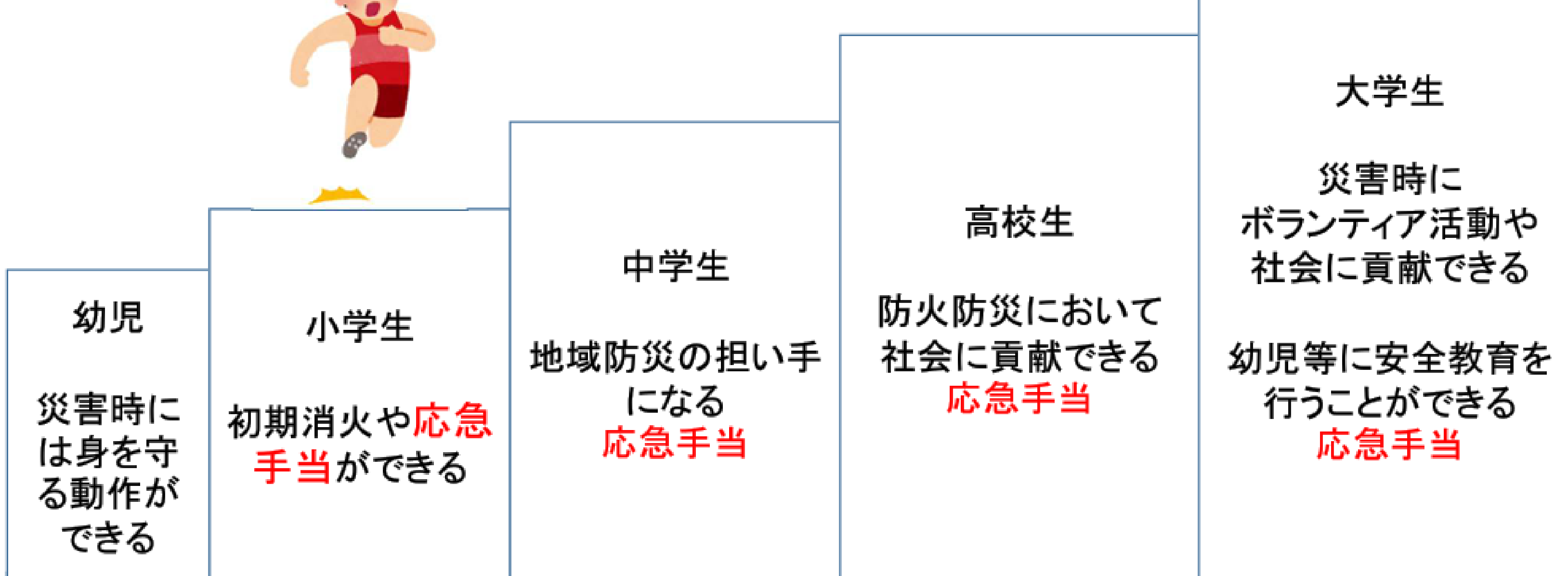


「災害に備えるまちづくり」の為には各地域の防災意識・防災力の向上が必要不可欠

防災意識・防災力の向上には**幼少期からの防災教育**も大切！！



どの世代でも、**応急手当**を！



市民一人ひとりの**防災力の向上**

「**自助・共助の推進**」
→ **地域防災力の向上**